

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」大阪狭山金剛校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			支援スペースは法令遵守しているが、支援数が多い時は十分なスペースとは言えない。指導員同士で相談し、支援場所の工夫し、より充実した支援が提供できるように努めている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・段差があることを分かりやすくするため、段差部分にカラーテープを貼るなどの工夫を検討する。 ・支援開始と終了の時間のズレを可能な限り少なくすることが課題。今後も時間のズレの解消とスムーズな誘導に努める。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート等で頂戴した意見はミーティング等で全職員で共有するとともに、課題解決に向けて方策等を検討し、業務改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は受けていませんが、サービスの質の向上のため、今後も、相談支援事業所等の外部機関との連携の中で、評価にかかる意見を聞き、業務改善につなげていきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			日常的に情報交換に努め、より充実した支援につながる計画になるようにしている。
適切な支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日常的に情報交換に努め、より充実した支援につながる計画になるようにしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			発達検査等については、保護者から提供していただいた場合に、職員全員で共有し、支援充実に活かせるようにしている。

提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		情報交換を密に行い、プログラムの工夫・前回の支援とのつながりを大切に、個別で立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		個々の指導員の持ち味・得意を活かした支援を目指すことがプログラムの固定化しないことにつながっている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		宿題等のサポートが必要な場合は、計画も含め支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		月曜開所で集団活動を可能な限り取り入れている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		職員ミーティングや日常的に支援前の打合せ・確認をしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		翌日のミーティングや日常的に気づき等の共有をしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		ケースにより管理者と指導員と一緒に参加したり、指導員のみ参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		保護者からの要望があったとき、担当者会議等で連携している学校、必要が生じた場合に、学校との情報共有、連絡調整等を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在、該当利用者がいないが、必要な場合は関係機関との連携していく体制はできている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者からの要望があったとき、必要と判断した場合に、保育所・幼稚園等と連携している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		保護者からの要望があったとき、必要と判断した場合に、情報提供・報共有、連絡調整等を行っている。

との連携					
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○ 個別支援であることから、放課後児童クラブ等との交流の機会設定が困難。担当者会議で放課後児童クラブ担当者と意見交流等はできている。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○	大阪狭山市通所事業所部会に参加。今後、地域等に関われた「きらり」となるための方策を考えていきたい。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		支援後の振り返りの時間の充実に努めている。
保護者への説明責任等	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		振り返り等の機会に個別に保護者の支援・助言を行っている。
	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に重要事項説明書等を通して説明し、理解を深めていただくことに努めている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		支援後の振り返りの際に不安なことや望まれることをお聞きしている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		パパ・ママカフェを開催。今後も、いろいろなテーマで企画していく。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		ミーティングや日常の会話を通して、相談や申し入れ内容の職員間で共有、課題解決策をみんなで考えるという体制は確立できている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		掲示コーナーやミーティングルームにポスターを掲示したり、LINE で情報提供をしている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○		鍵付きのロッカーに保管するなど、取り扱いに十分注意している。P C 画面にスクリーンセーバーをかけ、画面上の情報取り扱いに注意するようにした。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		

	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		個別支援であるため地域住民を招待する機会設定が難しい。見学等の要望があれば受け入れに向けて積極的に検討する。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			きりり内に掲示はしているが、アナウンス不足が課題。分かりやすくなるよう表示等を工夫する。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			個別支援であることもあり、利用者参加の訓練ができていないのが課題。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			全員が受講できないときは、必ず伝達講習ができるように努めている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			おやつ提供はしていないが、イベント等で必要に応じ、医師等と連携し取り組んでいく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			その日の内にヒヤリハットの内容を共有するとともに、本部に報告している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」大阪狭山金剛校 保護者等数（児童数）：55人 回収数：43人 割合：78%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応(※)
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	39	3	1	・限られたスペースで工夫されている。 ・仕切りのみで部屋が分かれておらず、狭さを感じる。少し「ゆとり」があれば。 ※スペースは法令遵守しているが、今後も安全に配慮し、スペースの有効活用に努めたい。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	41	1	1	指導員が一人減り、教室内が雑然としているときがある。 ※指導員については一人減から一人増員となり、総数はこれまでと同じ。ただ、入れ替わりの際の対応の不手際から、混雑したこともあり、今後、よりスムーズに入れ替わりができるように工夫していきたい。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	24	18	1	・トイレが子どもにとっては大変なようである。 ・危険な場所も十分に対策されている。 ※段差があることを分かりやすくするため、段差部分にカラーテープを貼るなど、少しでも安全に使いやすくなるように工夫していきたい。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	43	0	0	日常的に情報交換に努め、より充実した支援につながる計画になるようにしている。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	38	5	0	・毎回、異なるプログラムが実施されている。 ※個々の指導員の持ち味・得意を活かした支援を目指すことがプログラムの固定化しないことにつながっている。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	25	12	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	43	0	0	要望を取り入れた計画が作成されている。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	43	0	0	支援後の振り返りの時間の充実に努めている。時間の確保が困難な時がある。事業所内相談支援のさらなる活用が必要である。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	36	6	1	振り返りで対応方法等の助言をさせていただいている。今後も、振り返りの時間の充実に努めていく。

	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	25	10	パパ・ママカフェを開催した。保護者同士が交流できる機会を考えていきたい。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	30	13	0	情報を職員全員で共有し、全員で対応策等を考え、全員で取り組んでいく体制はできている。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	40	3	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	36	7	0	掲示コーナーやミーティングルームにポスターを掲示したり、LINE で情報の発信をしている。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	43	0	0	PC 画面が机上で開けたままになっていた。 ※鍵付きのロッカーに保管するなど、取り扱いに十分注意している。P Cについては、画面にスクリーンセーバーをかけ、直接画面内容が見えないようにした。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	39	4	0	きりり内に掲示しているが、アナウンス不足が課題である。今後、気づきやすい、分かりやすいものとなるよう工夫したい。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25	17	1	療育中に実施されていない。 ※個別支援であるため利用者様を交えての避難訓練等の実施が難しい。今後、方法を研究していきたい。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	41	2	0	・寒い日や学校がしんどかった時に行き渋りがある。 ・「きりり」に行くのをとても楽しみにしている。 ※どのような時にも「きりりに行くのが楽しみ」となるように、支援内容・方法をさらに工夫し、お子さまにとって魅力的な支援になるように努めてまいります。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	43	0	0	・どの指導員も丁寧に接し、振り返り時の説明も十分していただいている。 ・どの先生も魅力的で支援に満足しています。 ※支援内容や方法の日常的に共有し、全体の支援が充実するように努めていく。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。